

日光市下水道事業経営健全化計画の進捗状況（平成30年度決算）

「下水道事業経営健全化計画」は、「第2次日光市総合計画前期基本計画」及び「日光市生活排水処理構想」に定める下水道事業の将来像の実現を目指し、経営基盤を強化するため、「歳入の確保」及び「歳出の抑制」について、それぞれ目標を設定し、その達成に向けて取り組むべき課題を定めたものです。

計画期間は平成28年度から令和2年度までの5年間で、年度ごとにそれぞれの課題の進捗を公表することとしています。

1 経営健全化に向けた目標

（1）基本目標

- 第2次日光市総合計画前期基本計画及び日光市生活排水処理構想に定める下水道事業の将来像の実現を目指し、経営基盤を強化します。

（2）具体的目標

- 財源の確保と受益者負担の原則に基づいた公平性確保のため、滞納状態にある下水道使用料の解消に努め、計画期間の令和2年度末の過年度徴収率21.1%を目指します。
- 令和2年度までに地方公営企業会計への移行を行います。

2 経営健全化に向けた施策の進捗状況

（1）歳入の確保

① 下水道使用料の滞納整理と徴収率向上

（単位：％）

項目	達成状況	年度	目標値	実績値	目標との差	目標値と実績値に差が出た理由等
令和2年度末の過年度徴収率を21.1%とする。	達成	H30	19.8	20.4	+0.6	上水道と連携し給水停止及び訪問徴収を実施し未収金の圧縮に努めた結果、目標値を0.6ポイント上回った。今後も、引き続き上水道との連携や納付指導により、過年度徴収率の向上に努める。

② 水洗化率の向上

(単位：％)

項 目	達成 状況	年度	目標値	実績値	目標 との差	目標値と実績値に 差が出た理由等
令和２年度末の水洗化率を 94.2％とする。 ※水洗化率＝水洗便所設置済人口／処理区域内人口×100 ※目標値は平成 26 年度実績 93.0％から毎年 0.2 ポイントの上昇として設定	未達成	H30	93.8	93.2	△0.6	水洗化普及促進として、パンフレットの配布、広報等を通じて啓発活動を行ったが、人口が減少する中で、水洗便所設置済人口の減少率が高かったため、目標値を 0.6 ポイント下回った。今後は、より一層水洗化の普及、促進に努める。

③ 有収率の維持

(単位：％)

項 目	達成 状況	年度	目標値	実績値	目標 との差	目標値と実績値に 差が出た理由等
有収率を 80.0％以上とする。 ※有収率＝年間有収水量／年間汚水処理水量×100	達成	H30	80.0	80.7	+0.7	マンホール補修等の工事を実施し、適正な施設の維持管理に努めたことにより、不明水が減少し、目標値を 0.7 ポイント上回った。今後も、引き続き不明水対策に努める。

(2) 歳出の抑制

① 適切な維持管理費の維持

(単位：％)

項 目	達成 状況	年度	目標値	実績値	目標 との差	目標値と実績値に 差が出た理由等
経費回収率を 100％から 110％で維持する。 ※経費回収率＝使用料収入／汚水処理費×100	未達成	H30	100~110	85.1	－	汚水処理費が増加したことにより、目標を達成できなかった。今後は、より一層、汚水処理費の抑制、使用料収入の確保に努める。